
資 料

第 13 回 南山大学法学部・法科大学院 — 韓南大学校法科大学 学術交流会

南山大学法学部長 澤 登 文 治

韓南大学校法科大学との学術交流会は、2015 年度で第 13 回目を迎え、2015 年 11 月 1 日(日)から 11 月 4 日(水)にかけて大韓民国^{テジョン}大田市にある韓南大学校において行われた。奇数年には南山大学が韓南大学校を訪問し、偶数年には韓南大学校が南山大学を訪問するという具合に、毎年、交互に会場を交代させながら実施してきた。

今回、南山大学からの訪問団は、丸山雅夫教授、青木清教授、都筑満雄准教授、私、澤登および南山大学法学部の学生 22 名の合計 26 名であった。

^{インチョン}仁川空港に到着後、送迎バスにて大田市に移動した。大田市は、韓国で 5 番目の大都市で、人口約 150 万人、1993 年には万博が開催され、ハイテク団地「大徳研究団地」を擁する商工業、科学技術分野で有名な都市である。そのような地理的背景もあり、韓南大学校法科大学でも特許法や著作権法関連の研究が盛んである。

到着翌日 11 月 2 日(月)の午前中には、南山教員の私たちは、韓南大学校の総長表敬訪問を行い、こちらから持参した記念品を副総長キム・ヨンファン教授に差し上げた。また、学生たちはその間、韓南大学校の学生たちに、大田市立美術館へ案内してもらった。その後、同大キャンパス内を散策し、昼食にはビビンバ定食をご馳走になった。

同日、午後 2 時から、韓南大学校法科大学法廷教室において開催された学術セミナーでは、「日韓刑事法の現代的動向 — 少年法に関する諸問題」という共通テーマを予め設定し、南山大学からは丸山雅夫教授が、「少年犯罪と鑑定 — 成人刑事事件と比較して —」(第 1 報告)と題して、韓南大学校からは申致宰^{シン・チジェ}教授が、

〔資料〕第13回 南山大学法学部・法科大学院 — 韓南大学校法科大学 学術交流会

「韓国少年司法の問題点および改善策」（第2報告）と題して、報告が行われた。その後、時間の許す限り、盛んな議論が行われた。

記録のため、今回の学術交流会の日程および学術セミナー終了後に撮影した集合写真を以下に掲載する。

なお、第1報告である丸山教授の報告については、大幅な加筆の上で韓南大学校発行の紀要に掲載される予定になっているが、当日の報告原稿を本記念号に掲載しているので、ぜひ参照されたい。また、第2報告の申教授の報告については、一部分修正を加えた報告レジュメを掲載しているので、ご参照願いたい。



〈日 程 表〉

日 付	時 間	場 所 ・ 行 事 等
11月1日 (日)	7:30	セントレア集合
	9:30～11:35	KE752にて、セントレア発—仁川空港着
	12:00～15:30	送迎バスにて、仁川空港発—大田市着
	18:00～20:00	歓迎夕食会 マンナ しゃぶしゃぶ料理
11月2日 (月)	10:00～11:30	学生：大田市立美術館・韓南大学校キャンパス訪問 教員：韓南大学校総長表敬訪問・同大学校キャンパス訪問
	12:00～13:30	56周年記念館 ボデザール・デ・シェフにて昼食
	14:00～17:00	韓南大学校法科大学法廷教室にて学術セミナー 第1報告：丸山雅夫教授 第2報告：申 致 宰教授
	18:00～20:00	送別会・プレゼント交換 同大学校工科大学国際会議室
11月3日 (火)	10:30～12:00	送迎バスにて大田市発—ソウル着
	午後～夜	ソウル市内観光
11月4日 (水)	午前～15:00	ソウル市内観光
	15:00～16:30	バスで仁川空港へ
	19:00～20:50	KE751にて、仁川空港発—セントレア着